

「エコテクノロジー・オンラインシンポジウム—Pre-ICEM15」ご参加の呼びかけ

SDG s エコテクノロジー・キャラバン カリキュラム検討委員会(ETCCC)

COP25 で指摘されるまでもなく、我国の持続可能社会実現に向けた動きは未だ鈍いといえる。その実現にはモーメントの大きい大都市よりも、小回りが利き実効性の強い地方から市民を巻き込むことが要である。再生可能エネルギーやバイオマス活用などの環境に配慮したエコテクノロジーは、その性格上地域分散が志向され、かつ都会では失われつつある地球や我が国の環境資源の活用という意味でも、地方からその適用が広まっていくことが期待されるものである。しかし、その技術開発は都市部で行われ、主体になって担うことが期待される地方は、メディアからエコテクノロジーを受動的に知ることはできても直に触れたり、疑問点を確認していくことは困難であり、そのエコ・テクノロジーを地元資源を優位に活用して地方創成と結びつけるのは難しい状態である。そこでその問題を克服する一歩として、環境科学リテラシーの普及を試みいくつかの典型的なエコテクノロジーを取り揃えて地方創成を考えている現場に持ち込み、地方の人たちに直に触れてもらい環境教育と意見交換の場を作るエコテクノロジー・キャラバンが考えられる。もちろんこれまでも個別の技術開発者が地方に巡業し普及を試みることはなされていたが、エコテクノロジー・キャラバンでは、SDG s を踏まえた環境教育と個別技術の売り込みではなく多様な技術を紹介することによって、地方創成の起爆剤とするものである。

現在、SDG s エコテクノロジー・キャラバン カリキュラム検討委員会(ETCCC)では、エコテクノロジー・キャラバンに必要なもしくは有用な教育課題や技術対象の整理を得行っているが、本シンポジウムは、その一環として、エコマテリアル開発をはじめとする、エコテクノロジーのなかでも地域展開の可能性のあるものを結集し、地域からの立ち上げが期待できるエコテクノロジーがオンラインで結びつき、地方に広げていく素地を作ろうというものである。エコテクノロジーを開発している方々のみならず、それを系統的に地方で展開しようという方々の積極的な参加を期待する。

構成案

日時 2021年 1月29日(金) 13:00-17:00 on ZOOM

第一部 13:00-14:00 エコテクノロジー・キャラバンと地域創成

第二部 14:15-15:45 われわれのエコテクノロジー 1件約15分、ZOOM 紹介

第三部 16:00-17:00 地域創成を目指して (長崎県壱岐市を例に)

参加方法 事前登録制による ZOOM 参加および Youtube 視聴 参加費無料

連絡、問い合わせ先 office@susdi.org (一社)サステイナビリティ技術設計機構